エプタザール
EПTA SAAL

6/18（日）

セレクトコンサート 第58回

Respect

作品、作曲者、共演者へ敬意を込めて

ルイス・クラレット

正戸 里佳

岡田 将

Program

〔Solo〕
バッハ：無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調

〔Duo〕
カザルス：チェロとピアノのための5つの作品
‘田園’‘空想’‘アルバムの1頁’‘ロマンス’‘ポエム’

〔Trio〕
ブラームス：ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調

2023年

6月18日（日）16時開演 15時30分開場

4500円 〔全席自由〕

- チケット取扱い
  チケットぴあ pコード240719
  e+（イープラス） https://eplus.jp
- お問合せ／チケット取扱い
  スピカ ☎ 03-3978-6548 ✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

エプタザール 狛江市和泉本町1-7-16 ☎ 03-3488-5311

ルイス･クラレット Lluis Claret （チェロ）

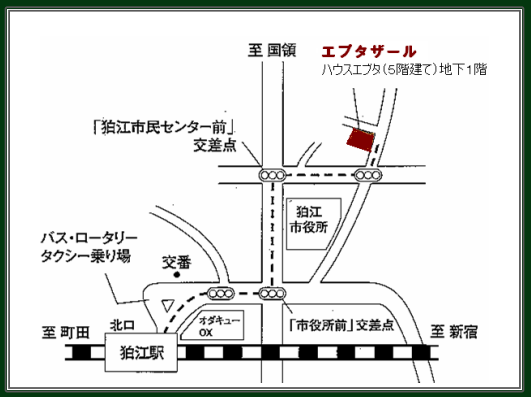
名付け親であるパブロ･カザルスの影響でチェリストを志す。リセウ音楽院卒業後、フランス、イタリア、アメリカで研鑽を積み、モーリス・ジャンドロン、ジョルジ・セボック、バーナード・グリーンハウス等から薫陶を受ける。
ボローニャ国際コンクール、カザルス国際コンクール、ロストロポーヴィチ国際コンクールで次々優勝を果たす。以来、バルセロナを拠点に世界的に活躍。
これまでにブーレーズ、ロストロポーヴィッチ、ノイマン等巨匠の指揮で、ワシントン・ナショナル管、フランス国立管、チェコ・フィルなど各国のメジャーオーケストラと共演。デュティユー、ルトスワフスキなど名だたる現代作曲家から献呈された作品の初演も多い。バルセロナ五輪の閉会式でカタロニアを代表する演奏家として、ビクトリア・デ・ロス・アンヘレス(ソプラノ)とカタロニア民謡「鳥の歌」を演奏する。
ソロ、室内楽、協奏曲のCDが数多くリリースされ、いずれも高く評価されている。
現在、ニューイングランド音楽院教授。

岡田　将 Masaru Okada（ピアノ）

桐朋女子高等学校音楽学部(共学)在学中の1992年、日本音楽コンクール第１位となる。翌年、同校を首席で卒業し、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年よりベルリン国立芸術大学にて研鑽を積む。
アルトゥール･シュナーベルコンクール(ドイツ)第１位、リスト国際ピアノコンクール(オランダ)で日本人初の優勝など輝かしい成果を挙げる。ドイツを拠点にソリストとして活躍した後、2007年に帰国。オール・リスト3回シリーズ、ベートーヴェン・ピアノソナタ全32曲シリーズをはじめ、意欲的な活動を展開。近年は室内楽にも力を注ぎ、第一線の演奏家と共演を重ねている。2018年、ルイス・クラレットとCD「ベートーヴェン：チェロソナタ全集」（レコード芸術準特選盤）をリリース。
出光賞、日本ショパン協会賞などを受賞。現在、神戸女学院大学准教授。

正戸 里佳 Rika Masato（ヴァイオリン）

10歳で欧州にてコンチェルトデビュー。17歳でパガニーニ国際コンクール第3位。桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業後、同学園ソリスト・ディプロマ特待生を経て渡仏。パリ国立高等音楽院修士課程を審査員特別賞を受賞し首席卒業後、最高課程を修了。
現在はパリと日本を拠点に、フランス、イタリア、スペイン、アメリカなどで国際的に活動中。18年、デビューCD『パリのヴァイオリン・ソナタ集』（レコード芸術準特選盤）をリリース。19年、「ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ全10曲シリーズ」(共演：岡田 将)を2都市で完遂し、大好評を得た。22年、広島市平和記念公園に開館した被爆遺構展示館にて、自身の録音によるプーランク作曲「平和の為にお祈りください」が使われている。使用楽器は1710年製ジュゼッペ・グァルネリ(フィリウス・アンドレア)。



小田急線「狛江駅」北口より徒歩10分

エプタザール ☎ 03-3488-5311

狛江市和泉本町1-7-16 ハウスエプタ地下1階